

令和 7年 2月10日

各関係機関の長 様

出水保健所長

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎流行に関する警報発令について（通知）

日頃から感染症予防対策業務につきましては、格段の御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、感染症発生動向調査事業によるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり発生報告数が警報発令基準〔8〕を超えたため、管内に流行発生警報を発令しましたので通知します。

なお、当保健所管内の過去3週は下記のとおりとなっております。

また、調査情報を県のホームページに掲載しています。

記

第4週(1/20～1/26)	第5週(1/27～2/2)	第6週(2/3～2/9)
5.33	5.67	9.00（警報発令）

問い合わせ先

〒899-0202 出水市昭和町18-18
北薩地域振興局保健福祉環境部
出水支所（出水保健所）保健係
担 当 古屋，今村
電 話 0996-62-1636（内線204）
FAX 0996-63-1114

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の予防について

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌という細菌による感染症で、どの年齢層でも起こりますが、特に学童期の小児に多い病気です。

また、人と人の接触機会が多いときに起こりやすいため、家庭、学校などの集団では特に注意が必要です。

2 症状

2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛で始まり、しばしばおう吐を伴います。

合併症として、肺炎、髄膜炎、敗血症、リウマチ熱、急性糸球体腎炎などをおこすこともあります。

3 感染経路

患者のせきやくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します（飛沫感染）。

また、排出された細菌が手や食べ物などを介し口に入ることによっても感染します（経口感染）。

4 予防方法

- ・手洗いやうがいを励行する。
- ・感染者との密接な接触をさける。

5 学校保健法での取り扱い

「第3種の伝染病」の「その他の伝染病」に例示されています。

ただし、適切な抗生剤治療が行われていればほとんどの場合24時間以内に他人への伝染を防げる程度に病原菌を抑制できるため、医師による判断が必要ではあるが、全身症状が良ければ登校できます。